

トピック — にんじんの価格動向 —

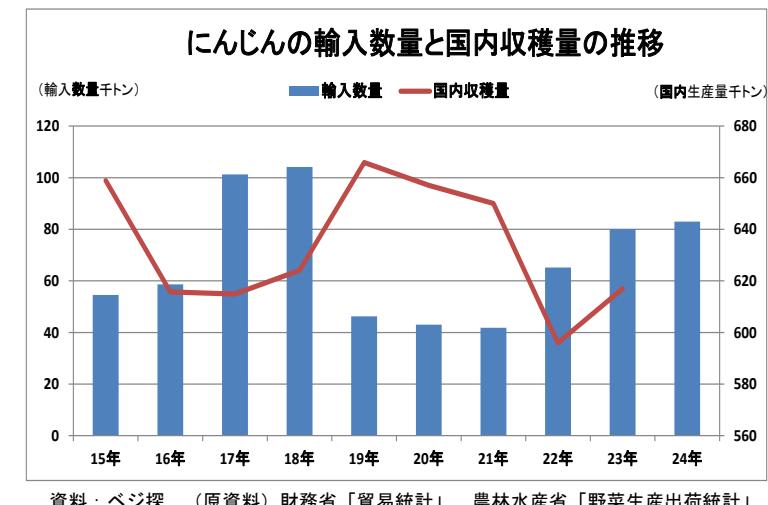
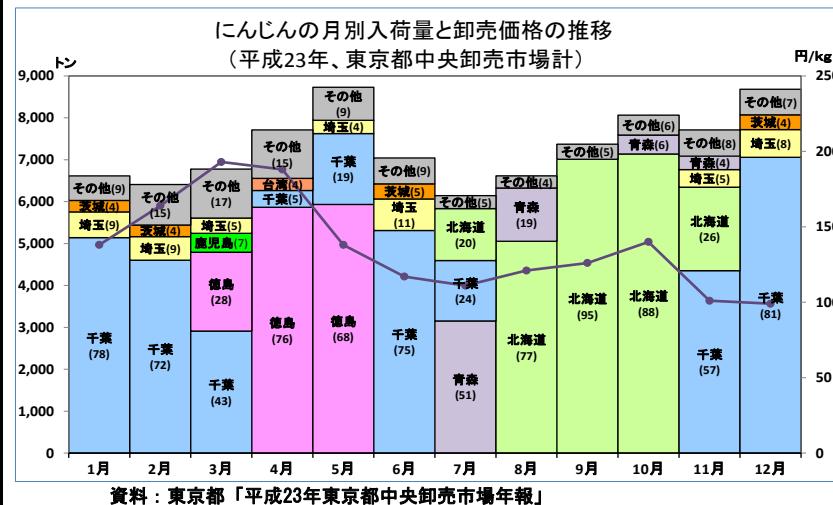
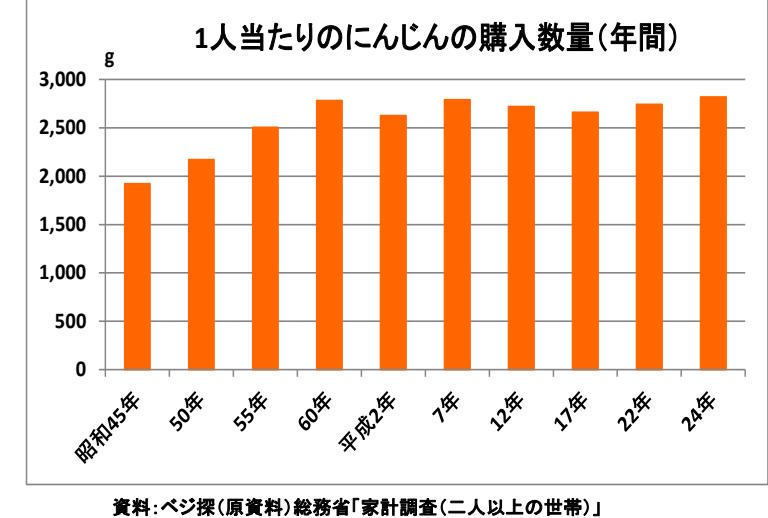
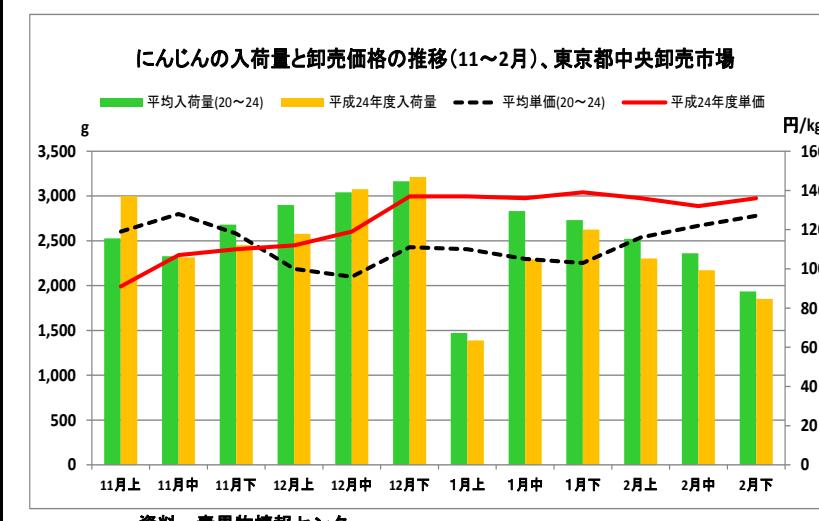
にんじんの価格は、12月上旬以降平年を上回り、価格が高めに推移しているところである。これは、冬にんじんの主産地である千葉県が、播種時期の夏場の暑さの影響により、発芽不良や生育遅れがあった中で、寒さの影響による生育遅れもあり、11月下旬から少なめの入荷量となり、2月下旬までほぼすべての旬で少なめの入荷量になったことによる。

にんじんは、緑黄色野菜の代表として、ビタミンAの前駆物質である β -カロテンの含有量が豊富で、また、明るいオレンジ色は、料理の彩りにも欠かせない野菜である。

にんじんがメインとなる料理は少ないが、和食から洋食まで幅広く利用されることから、指定野菜の中で生産量で7位、購入数量で6位と根強い地位を占めている。また、購入数量は、昭和60年以降は、年間2千7百グラム前後で、安定している。

今後は、千葉産は引き続き少なめの出荷量で推移するものと思われるが、後続の産地である徳島産は気温の上昇により生育が回復してきており、徳島産の出荷が増加する3月下旬からは、安定した入荷量になり、平年を上回っている価格は、落ちてくるものと思われる。

なお、にんじんは、国産に不足が生じると輸入量が増える傾向がある。最近の輸入数量は多めに推移しており、国内の安定した生産が望まれる。



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。